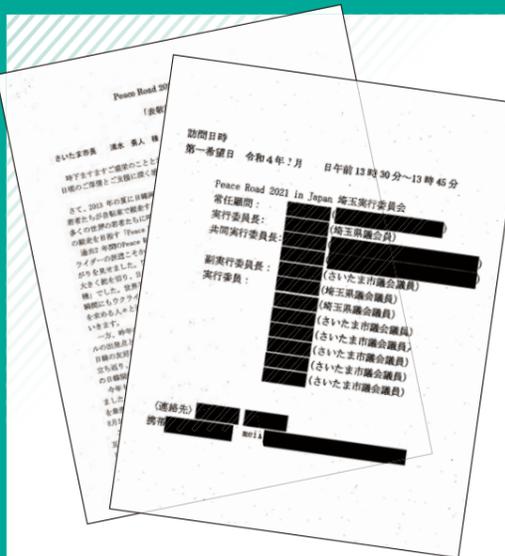


さいたま市と統一協会のつながりが明らかに

清水市長は9月の記者会見で「統一協会関連団体のイベント『ピースロード埼玉』から、表敬訪問を受けていた」と述べました。この会見を受け、党市議団が市に対し表敬訪問時の資料の提出を求めました。出てきた資料はイベントの実行委員である県議3名、さいたま市議6名の議員名がすべて「黒塗り」でした(左写真)。

党市議団はすべての議員が統一協会との関係を明らかにして関係を絶つよう議長に申し入れました。また公人である議員名を黒塗りにし統一協会との関係を隠す清水市長の姿勢は問題です。被害者拡大を防ぎ市民を守る立場で真相究明に取り組みます。



コロナ対策の職員 増員が必要です

コロナ対策関連職員の残業時間が非常に長くなっています。右表のように、課・室全体の年間とおした月平均で残業が100時間を超える部署があり、月平均で100時間を超える職員が多数いるなかで最長の職員は月平均で150時間近い残業をしていたことが私の決算委員会質問で明らかになりました。

体制強化と残業減を求めた私の質問に保健福祉局長は「さまざまな手を尽くして何とか乗り切った状況だが、新型コロナが収束したわけではない。職員を守ってかつ市民に安心して生活していただくためきちんとした人員体制の構築や事務の効率化を進めていきたい」と答弁しました。

新型コロナ対策に限らず、市民の命を暮らしを守るため、職員が足りない部署については増員を求めています。



コロナ関連職員の残業時間(2021年度)

	月平均	月平均最長職員
地域医療課	75時間	111時間
疾病予防対策室	64時間	148時間
新型コロナワクチン対策室	101時間	146時間

三室・教育センター跡地が 2025年10月 オープン予定 防災公園へ

地域のみなさんの声からはじまった防災公園計画。私も繰り返し議会でとりあげてきましたが、見通しがついてきました。最近では周辺の草刈りの要望を市に届け、実現しました。



イメージ図(市記者発表資料より)

見沼たんぼ 加田屋川整備と農業支援を求めました

見沼たんぼで農業を営む方々から、災害時や肥料など物価高騰への支援を求める声が寄せられています。

私は9月議会で台風や豪雨時に見沼たんぼが冠水しないよう加田屋川など河川整備を早急に進めつつ当面の管理の不十分さを指摘。市は改善を約束しました。

また国の肥料購入補助に市が上乗せする補正予算が9月議会で成立しました。安心・安全の食と自給率向上、地域経済の柱として農業支援を強める必要があります。



保育料比較

戸田市	1.6	66,000
越谷市	1.5	66,500
白岡市	1.7	67,600
川口市	1.4	69,000
春日部市	1.4	69,600
さいたま市	1.1	72,800
平均	1.6	62,521

さいたま市の保育料は隣接市と比べてもっとも高く、隣接市平均よりも1万円以上の差があります。また、保育料は所得が多い人ほど高い段階的な設定(所得階層区分)になっており、さいたま市は隣接市のなかでもっとも階層が少なく、所得に応じた負担になっていないことも示して質問しました。

松村：物価高騰かつコロナ禍で、経済状態も厳しい今こそ所得階層

区分を細分化し、最高額を引き下げることを提案する。

子ども未来局長：本市は隣接自治体のなかでは最高額だが、政令指定都市との比較では中位程度。階層区分ももっとも少ないが、細分化すれば保育料が上がる方もいる。経済的影響に配慮する必要があり今後適切な時期に階層区分を見直したい。

松村市議は「保育料を下げ、市が(不足分の財政を)補填すればい

いではないか」と重ねて求めましたが、子ども未来局長は保育料引き下げを拒否しました。

物価高のなか、負担軽減策のひとつとして高すぎる保育料は引き下げるべきです。

さらに民間学童保育(放課後児童クラブ)への補助金カットをやめ、国基準並みに引き上げることも求めました。



子どもの権利が活かされる学校へ提言

さいたま市立学校で教員の病休者が急増しています(右グラフ)。市教育委員会は、コロナ禍でも全160校にいた学校のサポートスタッフを10人に大幅削減。コロナ感染した教員は昨年度648人、今年度672人(8月末まで)と急増。私は子どもの教育環境と教員の健康を守るためにサポートスタッフの復活やコロナ対策の強化など施策の見直しを求めましたが教育委員会は具体策を全く示しませんでした。

また中学校校則の見直しを3年前の質問で取り上げて以来、ツーブロックや女子のスラックスを認める学校も増えてきました。私は質問で子どもの権利に則した校則見直しを着実に進めるよう求めました。



日本共産党 さいたま市議会議員

松村 としお

お問い合わせ・お申し込み  
松村としお事務所：緑区三室2713-4  
TEL・FAX 874-9666



生活相談 第1・第3水曜日：午後3時～5時  
法律相談 第3水曜日：午後3時～5時 弁護士が相談にのります

さいたま市議団 YouTube



# 物価高・コロナ禍から命と暮らしを守るさいたま市へ

9月議会に報告された2021年度決算は、コロナ禍のもとでも過去最高水準の大幅黒字になり、市民のために十分使われていないことが明らかになりました。さらに多額の基金残高も明らかに。私たちは、これらを物価高対策の財源に使い、市民生活と地域経済の支援をするよう提案しました。

## 2021年度決算は大幅黒字

一般会計 **73億円**黒字

財政調整基金  
残高 **225億円**

水道会計 **52億円**黒字

国民健康保険基金 **9.5億円**

介護保険基金 **44.5億円**

## 以下の緊急対策を提案しました

給食費値下げなど暮らし支援

中小業者支援給付金など  
経済支援

水道料金値下げ

国民健康保険税値下げ

介護保険料値下げ



## 2023年度予算要望を提出

**760**  
項目

来年の予算がこれから本格的につくられます。日本共産党市議団は今後も続く物価高対策として公共料金や保険料を引き下げること、地域経済支援の実現などを求めました。あわせて市全体としてジェンダー平等や地球温暖化対策の視点を入れることも強調しています。

予算の使い方を大型開発優先、福祉・教育費の削減・抑制から、暮らし最優先に変えることを求めます。

## あなたの声を市政に届けて 令和3年度の実績 (2021年4月～2022年3月)

### 1 新型コロナ対策

- ワクチン接種予約の改善[コールセンターのフリーダイヤル化・回線増、ウェブ予約システム改修(医療機関の空き一覧掲示、1回目と同時に2回目の予約が可能に)]
- 保育士、小学校教員、幼稚園教諭、学童保育支援員などへのワクチン優先接種が実現
- 小規模企業者等給付金(10万円)の第3弾を実現
- 医療体制の拡充が実現

- 新型コロナ対策としての融資制度の継続が実現
- 子育て世帯への特別給付が受け取れなかった世帯に対し「支援給付金」の支給が実現



### 2 物価高騰対策

- 認可保育所への光熱費補助が実現
- 国の月次支援金を受給する人も小規模企業者等給付金を申請可能に
- 商店街街路灯全額補助の継続が実現
- 農業機械のリース制度について業者との調整が実施

### 3 誰もが暮らしやすい市政へ

- 学校トイレへの生理用品の配置、拡充を実現
- 「校則見直しプロジェクト」の実施継続
- オンライン学習通信費補助額が増額(年額12,000円→14,000円)
- 児童発達支援センター・ひまわり学園の通所日数や看護師増などの改善
- 障がい者の移動支援が拡充

- 市立ひまわり特別支援学校に高等部が増設へ
- 福祉避難所への直接避難が可能に
- 避難所の備品(ファミリーパーテーションや段ボールベッド・エアマット)拡充
- 市庁舎内のプラごみのリサイクルと実証実験を実現
- 市のCO<sub>2</sub>排出削減目標(35%→46%)の引き上げ
- 生ごみ処理容器等購入費補助(コンポスト)の予算が増額
- 犬・猫の殺処分ゼロを達成
- ドッグランの「社会実験」が実現(浦和区三崎地区公園)
- ケアラー支援条例が制定
- 公民館のWi-Fi設置が5カ所から10カ所に増設

## 高校生までの医療費無償化を求める請願が不採択に

保健福祉委員会に「高校生までの医療費無償化に対する請願」が提出され、私たちは「東京23区をはじめ、政令市でも18歳まで医療費無償化の実施自治体が広がっている。本市でも実現を」と、採択を求めましたが、民主改革市議団、自民党市議団が反対して可否同数、委員長(自民党)が可否を決し、否決(不採択)となりました。大変残念ですが、引き続き、実現のために全力を尽くします。



採択を求めて討論するとうみ市議

## 徹底説明! さいたま市と統一協会

8/22 党市議団として、市に対して統一協会とさいたま市の関わりを調査を依頼。

9/1 清水勇人市長が記者会見で、統一教会系イベント「ピースロード埼玉」から表敬訪問を受けたことを報告。その際、「調査の結果、2018～2021年まで4回表敬訪問を受けた」「地元議員から要請があった」と話す。

9/7 議長に対し、議員と同団体の関係を調査するよう働きかけることを要望。議長は「今後、大きな問題になれば検討する」と回答。

9/9 「ピースロード埼玉」の表敬訪問の詳細資料の提出を依頼。出された資料には、埼玉県議3名、さいたま市議6名の肩書が。しかし氏名は黒塗り。



9/13 たけこし連市議が代表質問。黒塗りで提出した理由や当該市議に資料請求時に連絡をしたかなどを追及。

9/14 読売、朝日、東京、埼玉の各メディアが代表質問を報道。

9/26 議長に対し、「議会として調査すべき」と再申し入れ。議長は「代表質問後、多くのマスコミが報道し、市民の関心も高まった。各会派に調査を要請したい」と回答。



議長へ申し入れ

9/29 議長の調査要請を受け、民主改革さいたま市議団の市議2名が、統一協会のイベントに出席していたことを公表。

10/3 議長が代表者会議において、各会派に統一協会との関わりについて調査を行うよう要請。しかし、さいたま市議会自民党議員団が調査を拒否。

10/19 中島隆一市議(中央区・自民党)が会見を行う。「イベントには行った。黒塗りの中に名前が記載されていない」と発言。

10/21 中島隆一市議が2度目の会見。「黒塗りの中に名前があることを議長に教えてもらった。勝手に書かれていたようで、自分は知らなかった」と発言。

10/28 党市議団が「議員と統一協会との癒着に関する緊急声明」を発表。

11/3 埼玉新聞が調査を行い「市議13名が関わりを認め、調査拒否7名、未回答3名だった」と公表。